
第10回 受信機ワークショップ
「ミリ波サブミリ波受信機ワークショップ」
final circular

開催日時：2010年3月5日(金)12:55から6日(土)15:15まで
場所：東京大学・天文学教育研究センター
(〒181-0015 東京都三鷹市大沢2-2-1-1)

当日連絡先：0422-34-5163

主催：

国立天文台 野辺山宇宙電波観測所
名古屋大学 太陽地球環境研究所
大阪府立大学 21世紀科学研究機構「ミリ波テラヘルツ波研究所」

世話人：小川 英夫(大阪府立大学)、米倉 覚則(茨城大学)
野口 卓(国立天文台)、前澤 裕之(名古屋大学)
酒井 剛(東大天文センター)、木村 公洋(大阪府立大学)

ホームページ

<http://www.astro.s.osakafu-u.ac.jp/rxws10/>

当日の飛び入りも大歓迎です。多くの方々の参加を希望します。

プログラムは、ホームページにも掲載してあります。

講演時間は、下記の通りです。

講演時間30分の発表：講演20分+質疑応答10分
講演時間15分の発表：講演10分+質疑応答5分
ポスター紹介：講演3分(質疑応答なし)

3/5(金曜日)

12:55-13:00 開会の儀

13:00-13:15 立松 健一

ALMA 全体の進捗

13:15-13:30 伊藤 哲也

ALMA Band 4 の進捗

13:30-13:45 関本 裕太郎

ALMA Band 8 の進捗

13:45-14:00 芹澤 靖隆

サブミリ波帯サイドバンド分離型バランスドSISミキサの開発

14:00-14:15 藤井 泰範

ALMA バンド 10 カートリッジ進捗

14:15-14:30 金子 慶子

ALMA Band 10 カートリッジ初期量産モデルの設計

14:30-14:45 小嶋 崇文

ALMA Band 10 SIS ミキサの 4-12 GHz IF 特性解析

14:45-15:00 休憩

15:00-15:30 落合 啓

SMILES 国際宇宙ステーションでの観測性能

15:30-16:00 笠井 康子

JEM/SMILES が拓く地球大気観測

16:00-16:15 前澤 裕之

1.9 THz 帯 HEB ミキサの開発

16:15-16:30 休憩

16:30-18:00 ポスター3分紹介およびポスターセッション（座長：村岡）

真鍋 武嗣

各種アルミ鏡面材料の 640 GHz 帯サブミリ波反射特性の測定

黒岩 宏一

ALMA band 10 用導波管型 L0 カプラー一体型低雑音 SIS ミクサ

芝 祥一

HEB ミクサを用いた THz-QCL の周波数安定化

氏原 秀樹

統計的手法による微弱雑音測定システムの開発

角田 泰啓

高知大学方式 3He GM 冷凍機の性能向上

竹越 達哉

ASTE 搭載用ミリ波サブミリ波帯多色ボロメータカメラ光学系の開発

南谷 哲宏

ASTE 搭載多色連続波カメラ光学系：光学素子の設計・製作

木澤 淳基

ASTE 望遠鏡を用いた VLBI 観測のための超伝導 230 GHz 帯受信機開発

森部 那由多

NANTEN2 搭載 230GHz 帯受信機の開発

米倉 覚則

茨城 32 m 電波望遠鏡（高萩局、日立局）の整備状況

西村 淳

茨城 32 m 電波望遠鏡搭載 6.7 GHz 帯冷却受信機の開発

松本 浩平

X 帯・C 帯ポーラライザーの開発状況

八嶋 信平

1.85 m 電波望遠鏡搭載 230 GHz 帯超伝導受信機の現況

片瀬 徹也

1.85 m 及び 45 m 電波望遠鏡に搭載する定在波除去装置の開発について

18:00-20:00

懇親会（講演会場にて）

3/6（土曜日）

09:30-09:45

野口 卓

マイクロストリップ線路を用いた
カインティック インダクタンス ディテクタの提案

09:45-10:00

鈴木 仁研

伝送線路型 SIS フォトン検出器への展望

10:00-10:15

井上 裕文

超伝導トンネル接合を用いた雑音源の開発

10:15-10:30

安藤 浩哉

ブランチライン型偏波分離器

10:30-10:45 休憩

10:45-11:00

西岡 孝

GM冷凍機の温度振動通減

11:00-11:15

日比 康詞

多チャンネル極低温読み出しシステムの実現へ向けて

11:15-11:30

成瀬 雅人

NbN KIDs の特性評価—KIDs カメラの開発に向けて

11:30-11:45

新田 冬夢

サブミリ波帯超伝導共振器カメラの光学系

11:45-13:00 昼食／ポスターセッション

セッション4：（座長：小川英夫）

13:00-13:15

奥田 武志

NANTEN2 望遠鏡の現状

13:15-13:30

酒井 剛

ASTE：ヘテロダイン受信機について

13:30-13:45

中島 拓

野辺山 45 m 望遠鏡用 100 GHz 帯 2SB 受信機システムの開発

13:45-14:00

木村 公洋

1.85 m 電波望遠鏡の進捗

14:00-14:15

磯野 靖子

- 昭和基地用小型ミリ波観測装置の進捗報告
- 14:15-14:30 松尾 宏
南極テラヘルツ干渉計について
- 14:30-14:45 Qijun Yao
POST and DOME A FTS system
- 14:45-15:00 亀谷 和久
ASTRO-G 衛星フロントエンド EM の RF 性能試験
- 15:00-15:10 まとめ
- 15:10-15:15 閉会の儀

[集録]

予稿集や資料集などは作成いたしません。
その代わりに、ワークショップ終了後に集録（電子版）を発行する予定です。

集録原稿として、ワークショップ期間中に講演ファイルを提出していただきます（公表できない内容については、削除していただいて構いません）。
power point または pdf 形式でご用意ください。

[講演]

液晶プロジェクトを準備致します。ご自分の PC を接続の上、ご使用ください。

[懇親会]

初日夜に、講演会場にて、懇親会を開催いたします。
会費は、一般3000円、学生1500円を予定しています。
是非ご参加ください。
なお、懇親会のみ参加も歓迎いたします。

[2日目の昼食]

2日目は土曜日のため、生協は営業しておりません。
会場での飲食は可能ですので、昼食をご持参いただく事を推奨いたします。

~~~~~